



早朝の麻生原堰(せき) (麻生原)

うたごよみ ー長月ー

〔短歌〕

米納三雄選

散歩道一人加わりまた一人話は絶えず涼風の
なか
森田 房恵
母逝きて過ごす一日長くして為すこともなく
内田乃武子
今日も終わりぬ
手作りの孫ののれんに守られし子燕飛び立つ
井上ユリ子
今朝の青空
凌霄花の花赤々と散り敷きて緑の若芽空さし
上村 かず
て延ぶ
降り続く雨に畑はああ無残茄子・トマト・胡
瓜・西瓜みな萎れおり
吉永由紀子
深々と緑が囲むわが部屋に点滴受けつつ梅雨
の雨聞く
本田 隆章
久々に夜を出で来し夏祭り若者達の熱気溢れ
る
上村やす美
御田祭りの白装束の乙女らの供物ががけて青
田道行く
内山タミエ
熱中症の予防の為にクーラーを付けっ放して
一日終わる
緒方 明美
日扇のオレンジ色の花びらに黒揚げ羽蝶音も
なく舞う
赤星 延子
しなやかな穂先に咲ける鷺草の花はゆらゆら
舞いいるごとし
塚原 暁益
窓に見る隣のマンション十階は夕陽と街灯煌
きており
本田富美子
父母の齡遙かに越えて仰ぐ空に吾を見守りタ
月浮かぶ
松本ぬい子
逢えず居て逢えざるままに逝く友を卒業写真
見つつ思えり
渡辺 幸士

〔川柳〕

〔夕立〕

夕立よ心して降り甲子園
林 雅之
夕立に昼寝の夢がこわされる
道上キヌ子
夕立も待てば仲々降り出さぬ
福田 清子
夕立に追っかけられてペダル踏む
内村 邦炎

〔頭〕

雑学クイズ老いの頭が目を覚ます
坂口 政子
頭皮見ゆる髪を労り撫で上げる
丸岡はる子
夏休み頭並べて山の宿
成松 松枝
芋掘れば頭並べて顔を出す
伊豆野ヤエ

〔選挙〕

発言のブレに投票迷います
古閑チヨミ
私が選んだ人は落選す
布田 愛子
タレントが欲しい選挙の数合わせ
北 仁子
選挙戦時代の流れ見る鏡
緒方 瑞枝
浮動票軽く読んでて火傷する
渡辺 幸士

〔俳句〕

植田の面里山の影雲の影
高田れい子
梅雨の空見上げつつ濯干す
堀田 孝恵
苦勞かけし亡母思いぬ盆の月
本田 信子
嘔むほどに香りひろがる初胡瓜
本田サツ子
梅雨籠り灯引き寄せ一句かな
古田 幸子
トンネル抜け又トンネルや合歓咲きて
田端 慶子
かすむ眼に衰え覚ゆ衣替え
楠本 美鶴

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・1111 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

7月11日(日)～8月10日(火)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
下横田	井出 龍心	男	也典
下豊内	井出 帆希	女	智誠
下横田	田上 花一	女	恵和
下豊内	吉住 太一	男	雅和
岩下	岩崎 清	男	喬
岩下	佐野 晴那	男	二也
下横田	中川 菜桜	女	功利
西寒野	永野 美歩	女	也広
南三箇	田上 実真	女	利勇
豊内	園田 真心	女	樹

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
益城町	田崎 祐輔
船津	野仲 幸
静岡県	三ツ井 啓記
中横田	古閑 香奈
熊本市	本田 太郎
吉田	中村 愛

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
東寒野	古住 マキ	99	勝 吾
下豊内	高木 香代子	58	英 吉
下豊内	皆本 和子	87	光 之
津志田	津田 貞子	72	貞 子
仁田子	藤原 サトル	89	百 合
仁田子	佐藤 浩起	51	貴 美枝
西寒野	井出 節子	88	節 子
有安	舩田 三香子	46	裕 次
糸田	本田 敏子	62	弘
世持	平野 信子	87	啓 治
坂谷	境 敏男	88	敏 男
大町	古閑 富美子	85	富 美子

Data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,397	16
女	6,143	△2
計	11,540	14
世帯数	4,180	9

平成22年7月31日現在

(町史編さんだより)

本年度も、5月15日(土)から6月19日(土)までの約1か月間、ホテルの調査をしました。調査地点を25か所設け、目視による観察を続けました。

100頭以上確認できた場所が、一昨年は4か所、昨年は5か所だったのに対し、今年は10か所(下谷、尾北知行、田代、北早川、津志田、麻生原、麻生原堰(ゼキ)、東寒野、世持)でした。1000頭近く確認できた場所も、4か所ありました。甲佐町の至る所でゲンジボタルが確認でき、その生育環境(水・土・草・コケ・樹木・空気など)の素晴らしさに、改めてびっくりしました。

関東地方では、30頭近くのゲンジボタルの確認さえ

多くのホテルが確認できた世持の錦郷川周辺



甲佐の歴史を紡いで

～町史編さんだより(24)～

ゲンジボタルが飛び交う甲佐町

町史編集委員 中田 裕一 (生物)

も大ニュースになるそうです。甲佐町は、「ゲンジボタルの宝庫」と言っても過言ではないでしょう。

よく、「ゲンジボタルとヘイケボタルはどうやって見分けますか?」という質問を受けます。簡単な

見分け方は、「飛んでいるホテルが、お尻の光をつけたり消したりしているかどうか」です。

ヘイケボタルは光放しで、あまり明滅しません。実際に捕らえて、大きさ(10ミリ)などで確認する必要があります。

ます。7・8月にかけて増えるのかもしれませんが、6月中旬までで確認できたのは、北早川と豊内の2か所でした。一方、ゲンジボタルのオス(15ミリ)は同時明滅をしながら飛びますので、見分けやすいです。ちなみに、西日本のゲンジボタルの明滅は2秒サイクルです。(東日本は4秒サイクル)

オスとメスの個体数の比は、5対1ぐらいです。オスは、少数のメス(20ミリ)に気に入ってもらったために、頑張って明滅をします。我々人間の心を癒すためではなく、自分の子孫を残すために生命の光を燃やしているのです。

▼『甲佐町史』編さんに関するお問い合わせ先
町社会教育課町史編集係
☎096・234・3310

編集後記

4歳の長女は近ごろ、2歳になっただばかりの二女を相手に、「お母さん」役をする遊びがブーム。妹を「赤ちゃん」に見立ててあやすのがお気に入り。男の子以上の元気なじゃじゃ馬だった娘がママの姿を見て育つうちに、いつの間にか女の子として情緒を豊かに伸ばす姿は、知らない間につるを伸ばして花を咲かせる夏の朝顔のよう。

「夏休みデビュー」と言えば、夏休みに子どもたちが背伸びをして、ちよつと悪びつた姿に変わる代名詞。裏を返せば、多くの子どもたちが急激に「生きる力」を蓄えながら、大人への階段を駆け上がるのも夏休み。

夏の子どもたちは、照りつける太陽の光を浴び、水と栄養を吸収し、ぐんぐんと背を伸ばして鮮やかな花を咲かせる朝顔そのもの。その輝くまなざしに、(C)